

東京国際空港 固定測定局における航空機騒音測定結果 (令和6年8月1日～8月31日)

【測定結果(8月)】浦安墓地公園

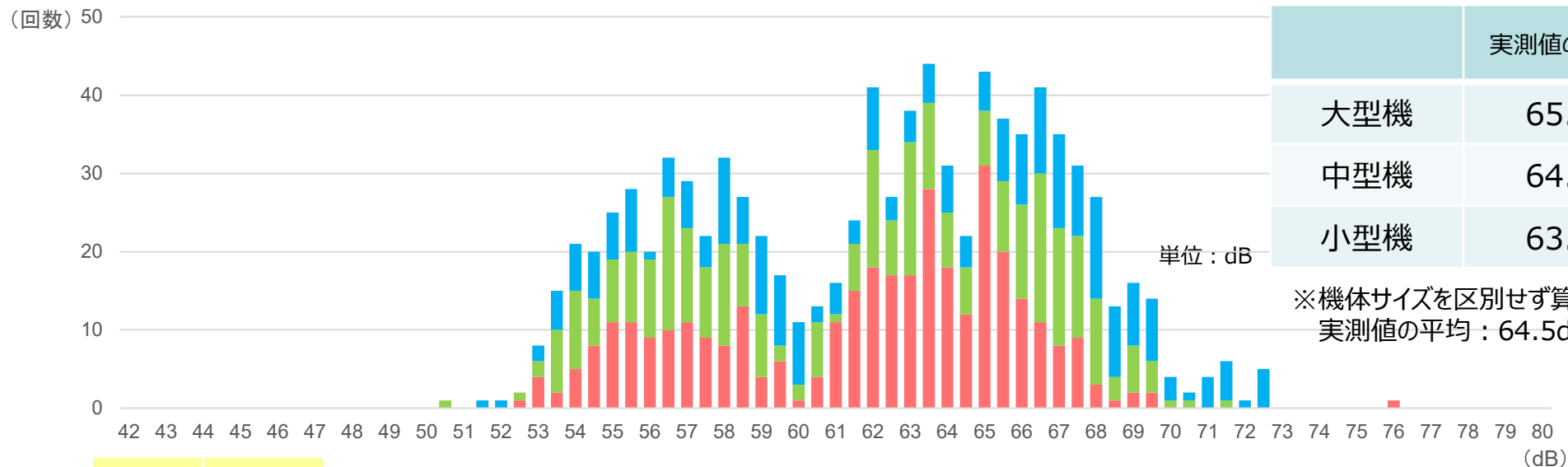
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北風離陸経路の側方に位置する。
- ・D滑走路南風悪天着陸経路の側方400m程度に位置する。
- ・C滑走路北風、南風離陸機とD滑走路南風悪天着陸機との航空機騒音を測定。
- ・C滑走路離陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：905

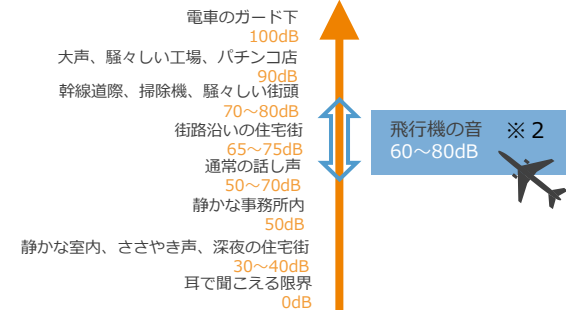


Lden	8月
	46.0

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したものである。

※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft（約305m）、離陸時で2000ft（約610m）以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

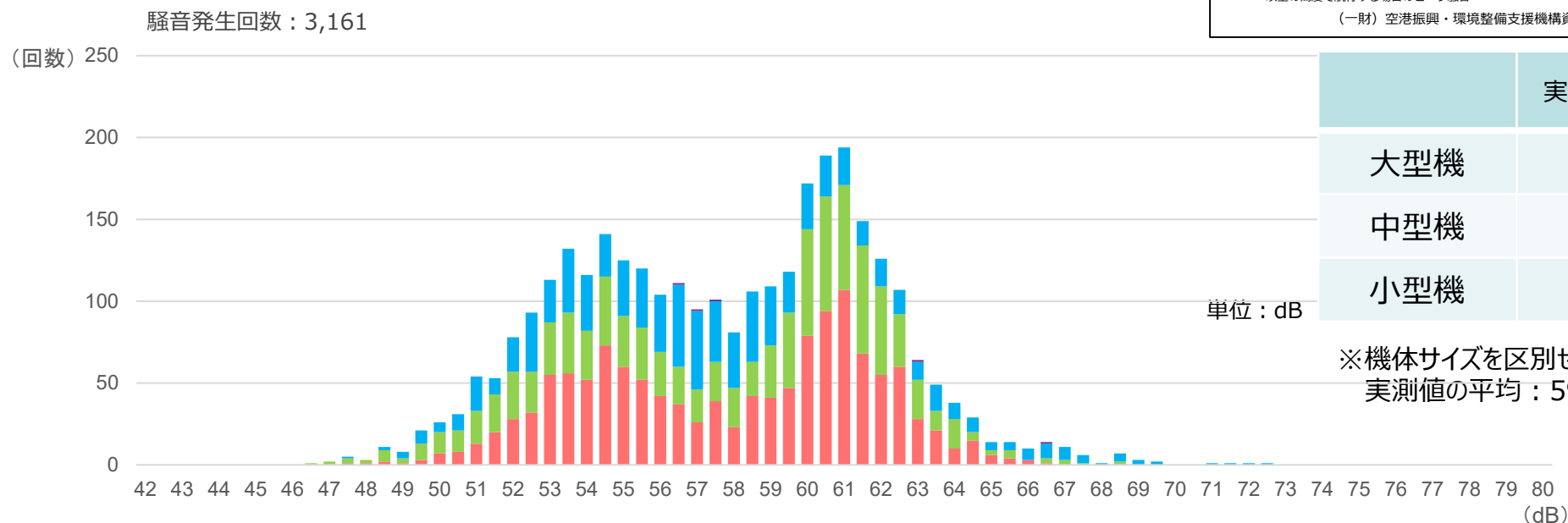
【測定結果(8月)】市川市立曽谷保育園

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北風離陸経路の側方に位置する。
- ・B滑走路南風悪天時着陸経路の側方500m程度に位置する。
- ・C滑走路北風、南風離陸機とB滑走路南風悪天時着陸機、C滑走路南風新飛行経路着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路離陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



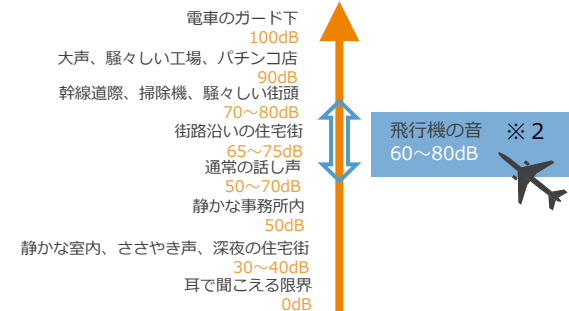
Lden	8月
	46.4

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB (デシベル)]）



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル（L A [dB]）での瞬間最大レベルを示したものである。

※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft（約305m）、離陸時で2000ft（約610m）以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	60.1
中型機	59.7
小型機	59.5

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：59.8dB

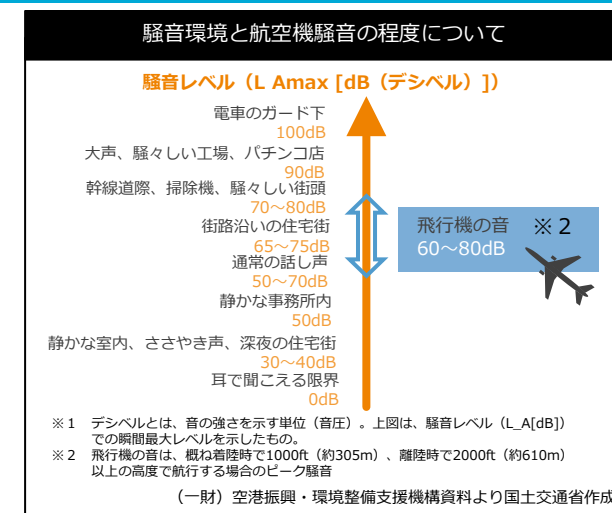
【測定結果(8月)】船橋市立小室中学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

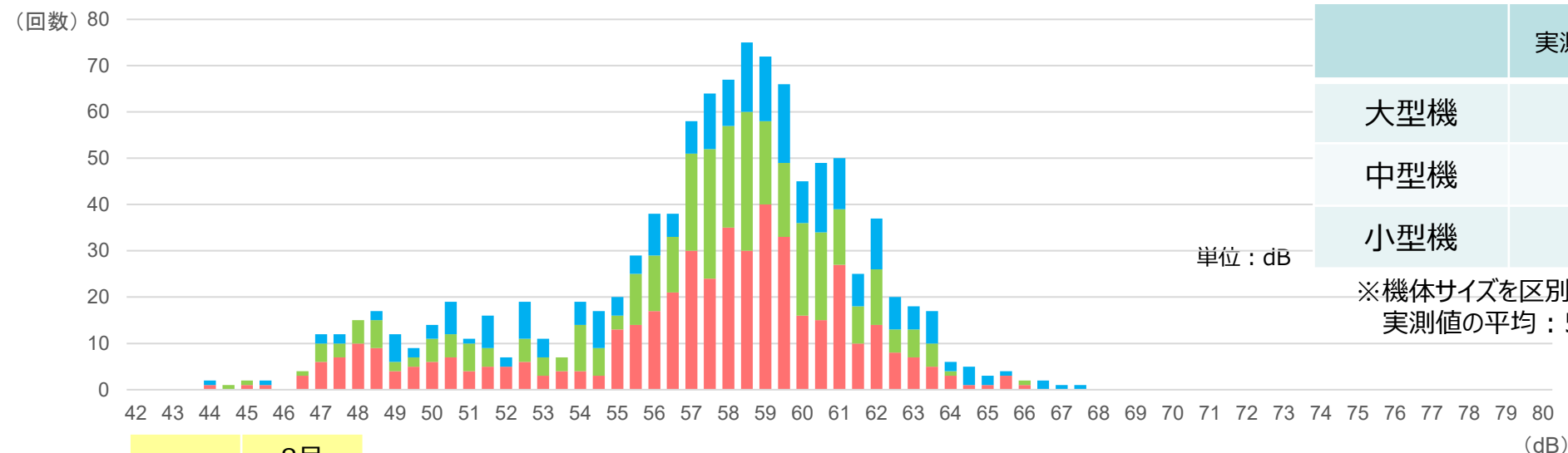
- ・B及びD滑走路南風悪天時着陸経路の交差点付近に位置する。
- ・D滑走路南風好天時着陸機とB及びD滑走路南風悪天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・D滑走路好天時着陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示すると、以下のとおり。



騒音発生回数：1,040



※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：59.1dB

	実測値の平均
大型機	59.8
中型機	58.8
小型機	58.9

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】船橋市立中野木小学校

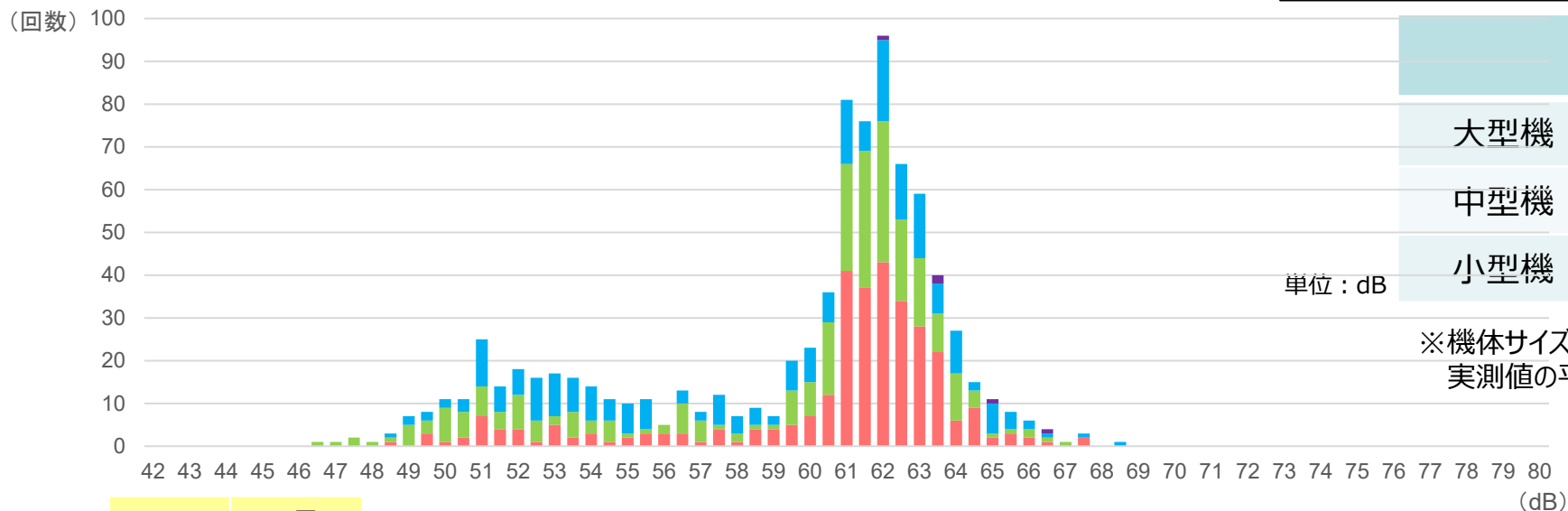
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北風離陸経路側方に位置する。
- ・D滑走路南風悪天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・C滑走路北風、南風離陸機とD滑走路南風悪天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路離陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：831



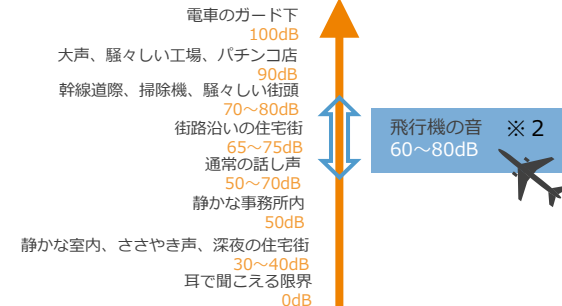
Lden	8月
	41.9

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L_A[dB]) の瞬間最大レベルを示したものの。

※2 飛行機の声は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で航行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	60.8
中型機	61.0
小型機	61.9

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：61.3dB

【測定結果(8月)】佐倉市立上志津中学校

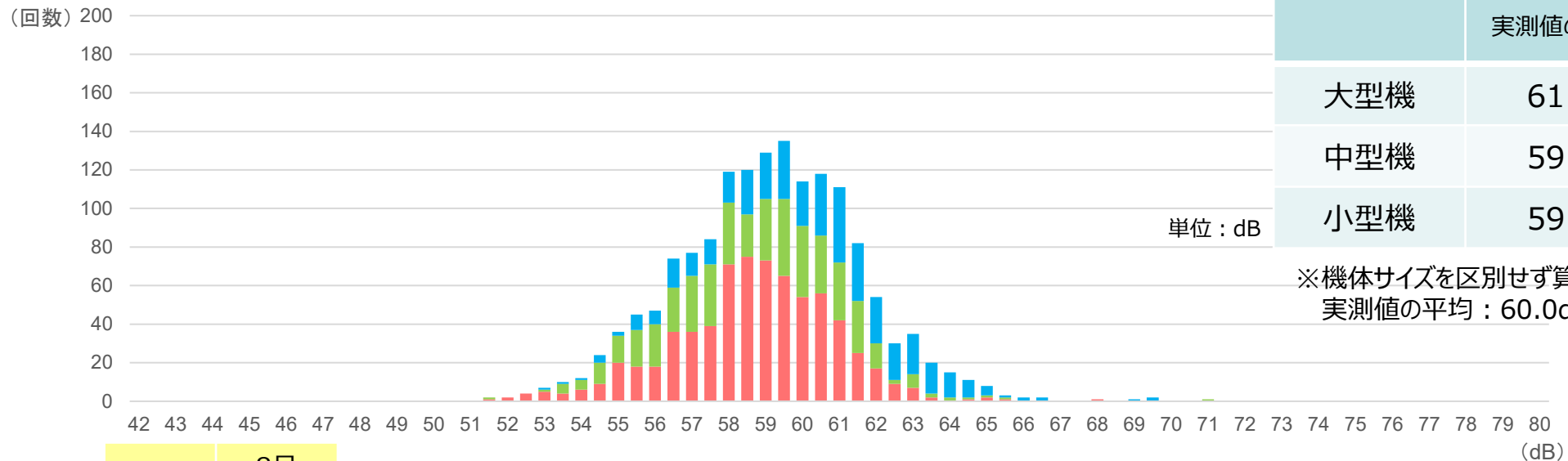
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・D滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・D滑走路南風好天時、B滑走路南風悪天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・B滑走路南風悪天時着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：1,537

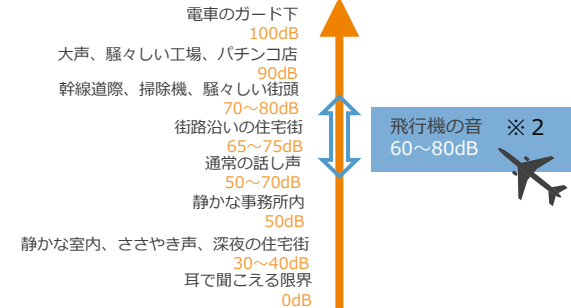


Lden	8月
	42.6

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) の瞬間最大レベルを示したものの。

※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で航行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	61.4
中型機	59.5
小型機	59.4

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：60.0dB

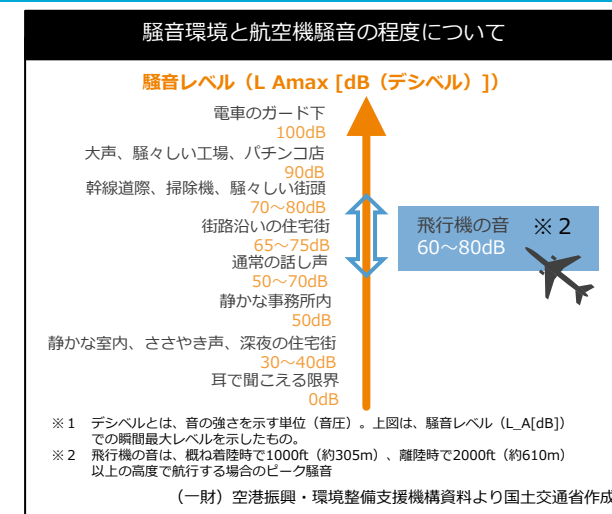
【測定結果(8月)】四街道市立みそら小学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

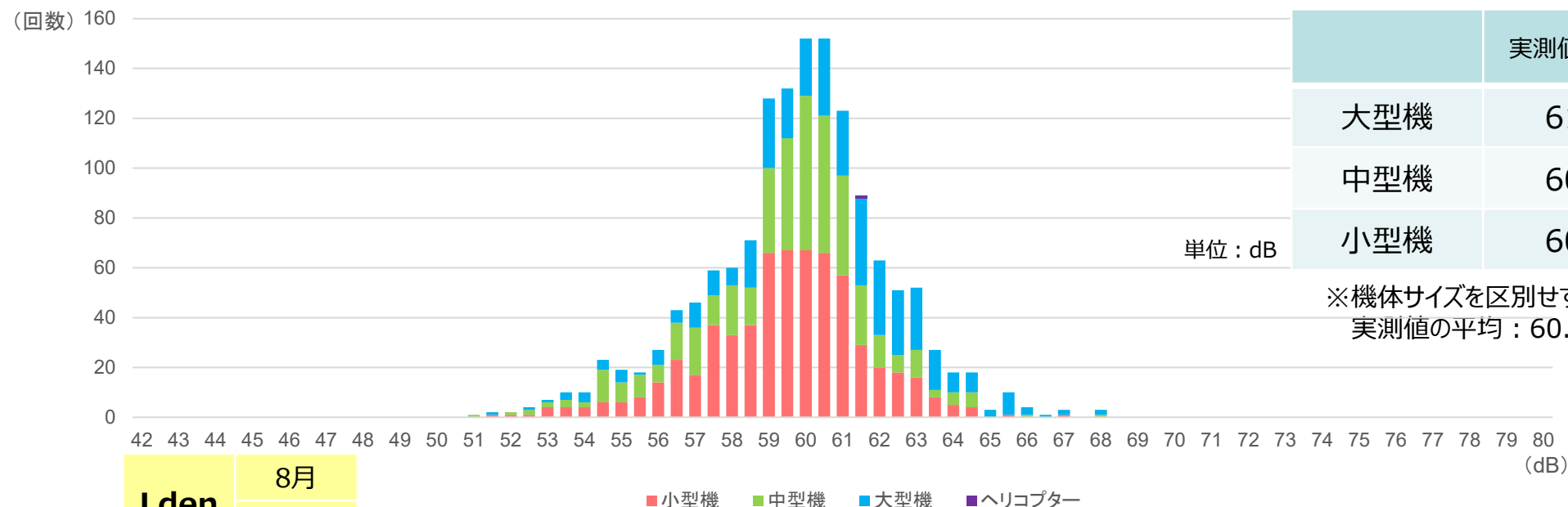
- ・D滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・D滑走路南風好天時着陸機、C滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



騒音発生回数：1,431



	実測値の平均
大型機	61.6
中型機	60.2
小型機	60.1

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：60.6dB

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】千葉市立本町小学校

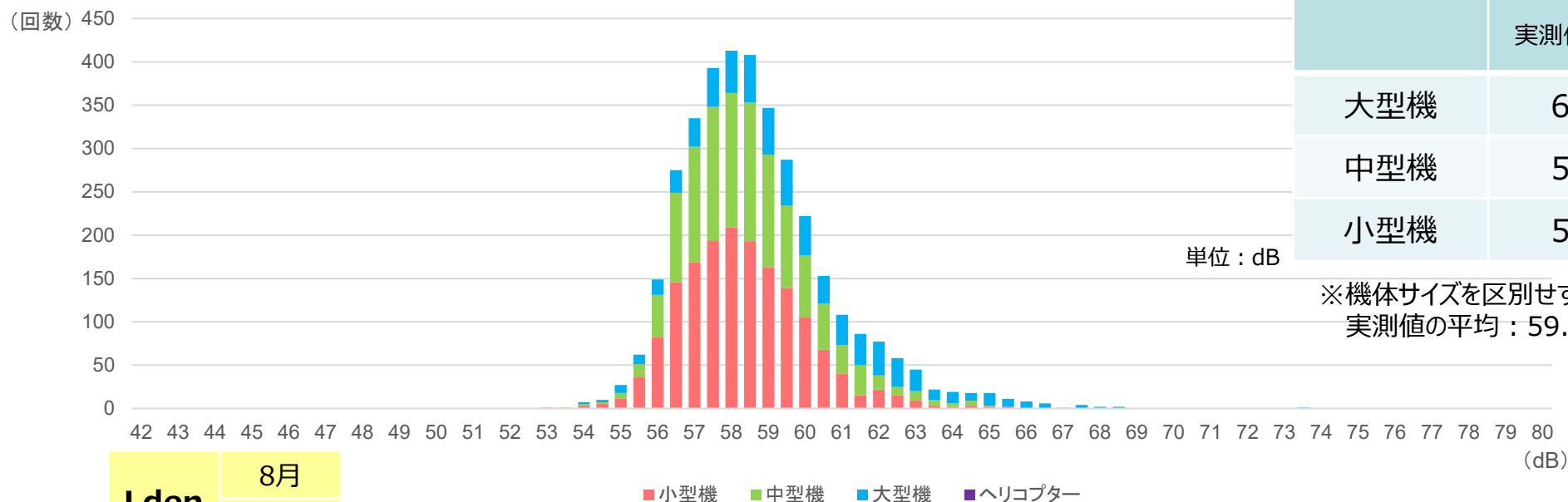
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・B滑走路南風好天時着陸機及びC滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

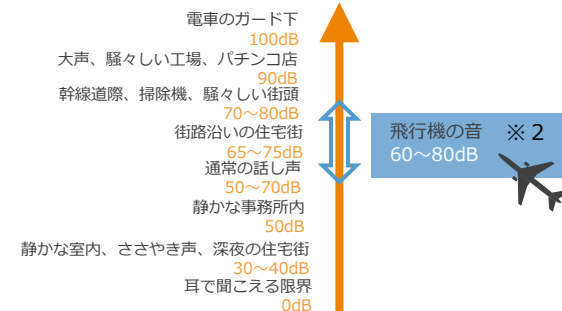
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：3,576



騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



- ※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したものを。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft（約305m）、離陸時で2000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音

（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	61.2
中型機	59.1
小型機	58.8

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：59.5dB

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】千葉市立平山保育所

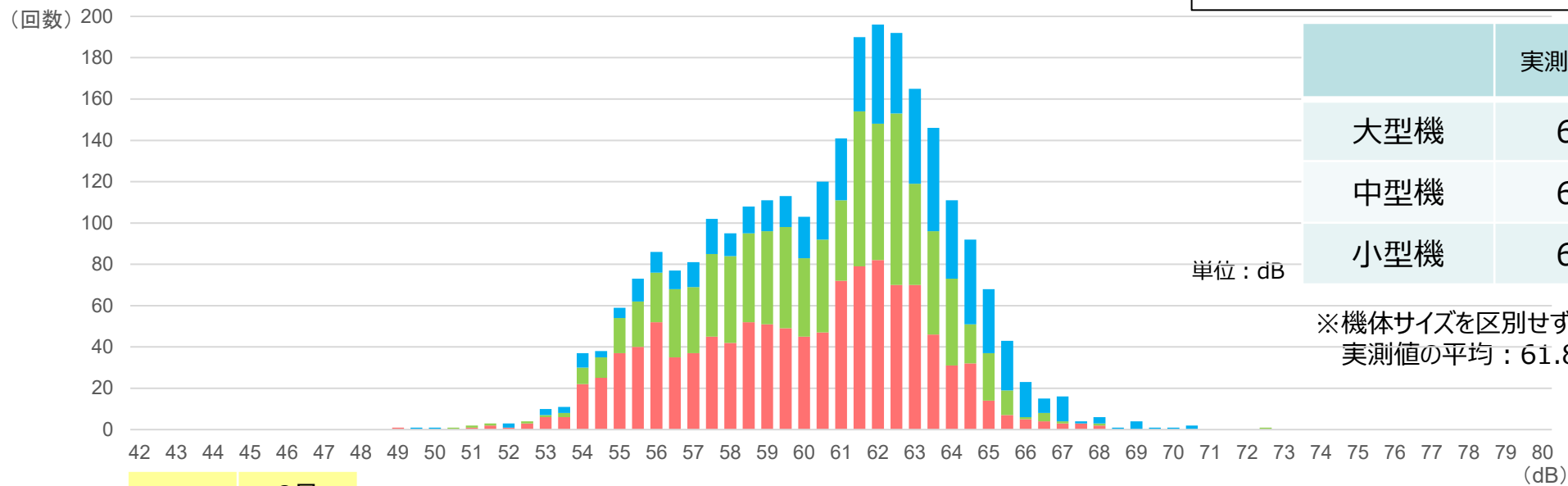
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B及びD滑走路南風好天時着陸経路の交差点付近に位置する。
- ・B及びD滑走路南風好天時着陸機、C滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：2,658

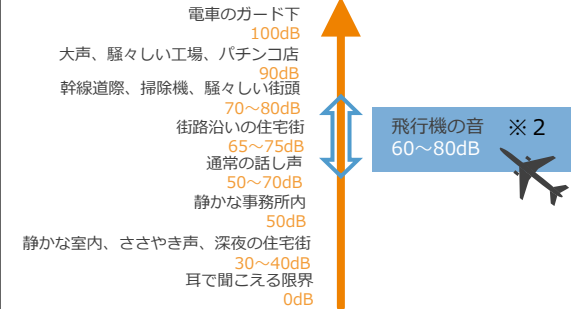


Lden 8月
47.3

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



- ※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) の瞬間最大レベルを示したものである。
- ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で飛行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	63.2
中型機	61.5
小型機	61.1

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：61.8dB

【測定結果(8月)】千葉市立大巖寺小学校

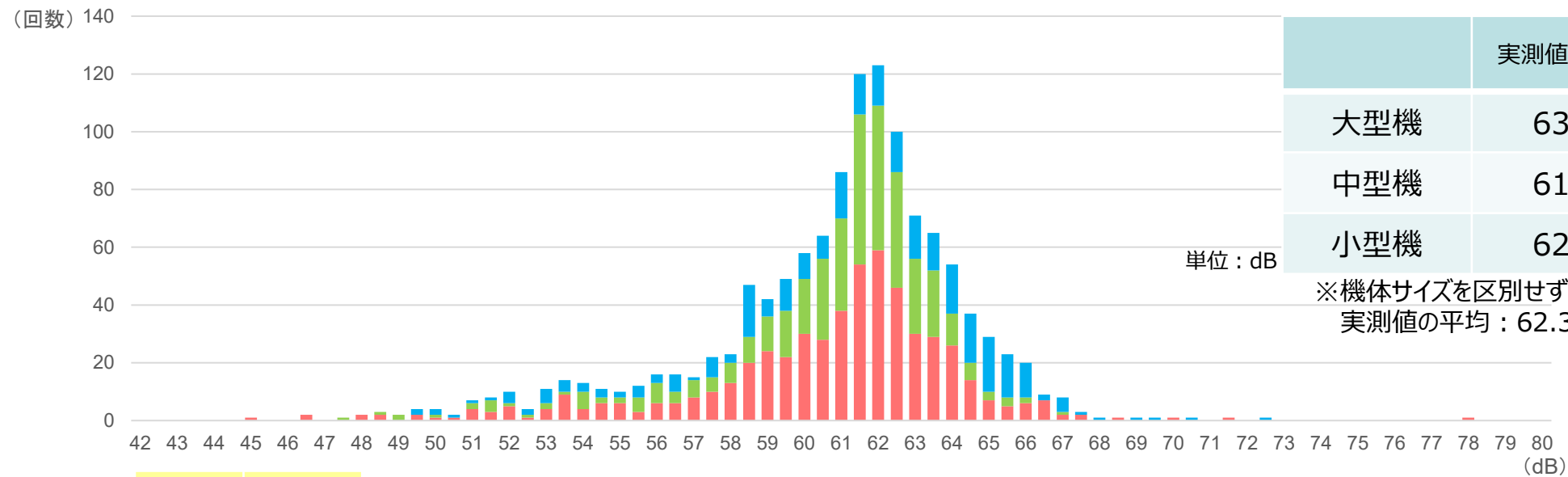
○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・D滑走路南風好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。
- ・C滑走路北風着陸機、D滑走路南風好天時着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は距離が遠く、高度が高いため音が小さい。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：1,230

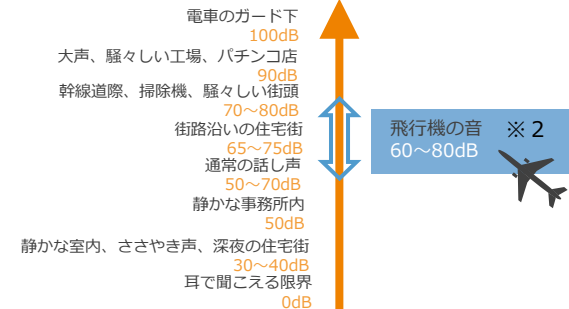


Lden	8月
	45.6

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) での瞬間最大レベルを示したものの。

※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で航行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	63.1
中型機	61.6
小型機	62.3

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：62.3dB

【測定結果(8月)】木更津下水処理場

○飛行経路と測定地点の位置関係等

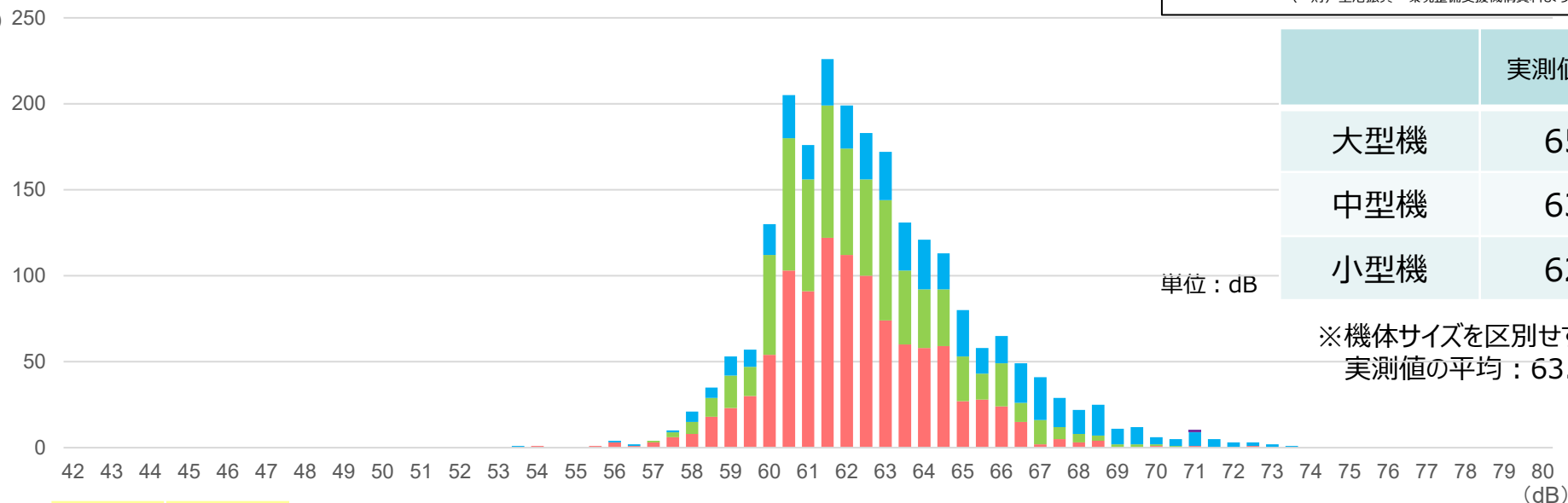
- ・C滑走路北風着陸経路の側方1km程度に位置する。
- ・A滑走路北風着陸経路の側方500m程度に位置する。
- ・A滑走路及びC滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：2,272

(回数)

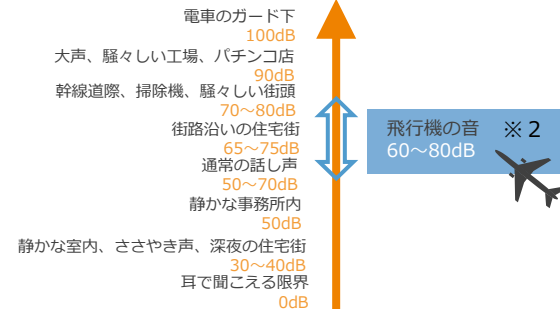


Lden	8月
	47.5

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル (L Amax [dB (デシベル)])



※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル (L A [dB]) での瞬間最大レベルを示したものの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft (約305m)、離陸時で2000ft (約610m) 以上の高度で航行する場合のピーク騒音

(一財) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

	実測値の平均
大型機	65.8
中型機	63.2
小型機	62.9

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：63.8dB

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

【測定結果(8月)】君津市立八重原小学校

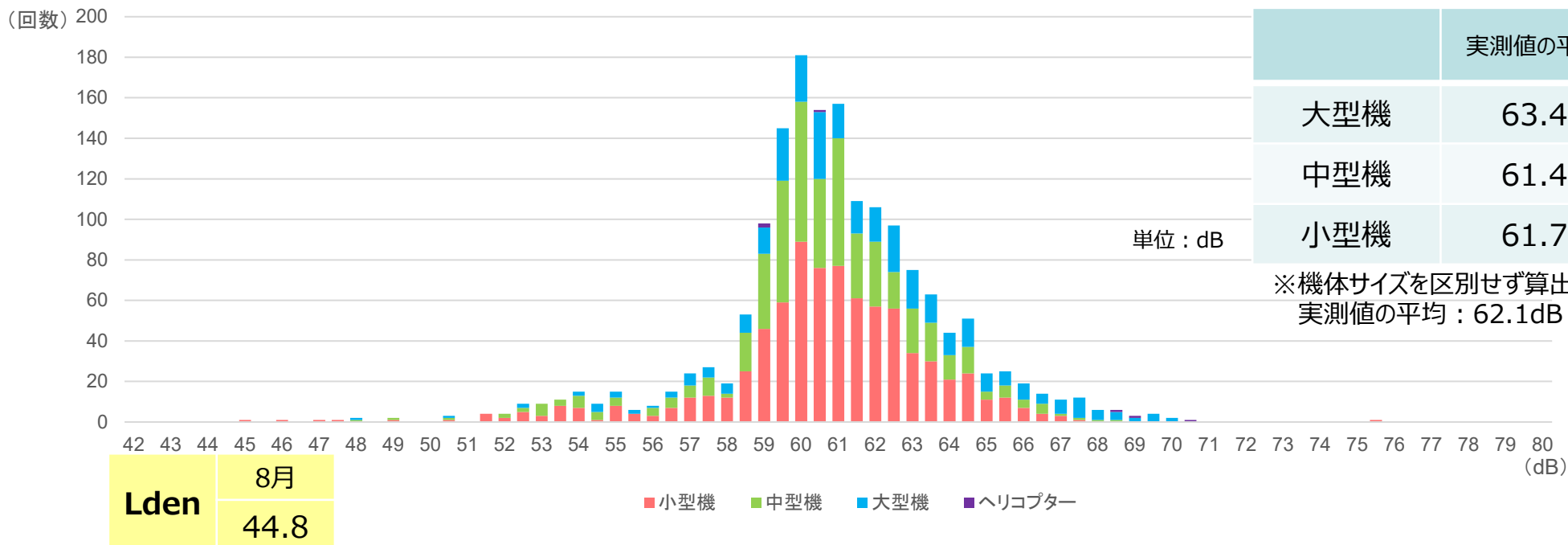
○飛行経路定地と測点の位置関係等

- ・A滑走路北風着陸経路の側方500m程度に位置する。
- ・A滑走路北風着陸機とC滑走路北風着陸機の航空機騒音を測定。
- ・C滑走路北風着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

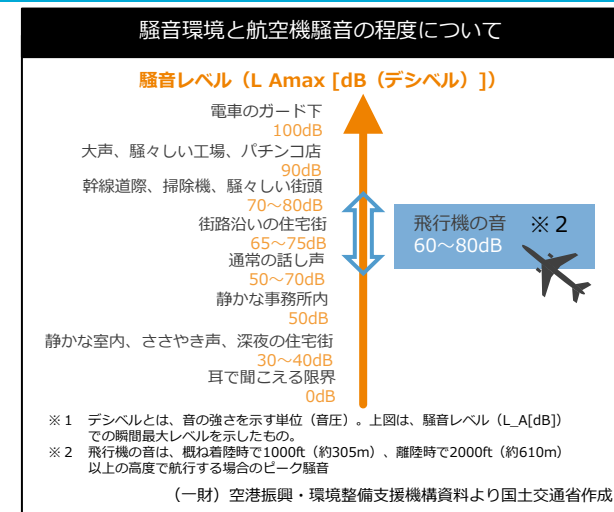
○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音発生回数：1,647



Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標



【測定結果(8月)】富津市立富津小学校

○飛行経路と測定地点の位置関係等

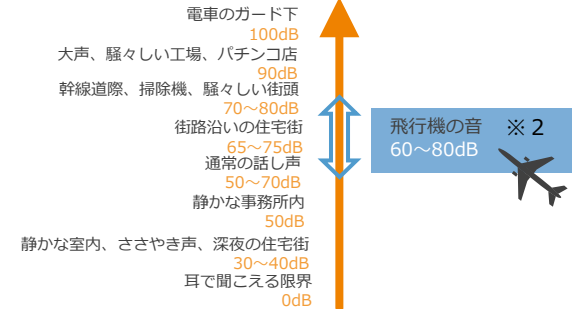
- ・A滑走路及びC滑走路北風着陸経路（富津沖海上経路）とD滑走路北風離陸経路の航空機騒音を測定。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

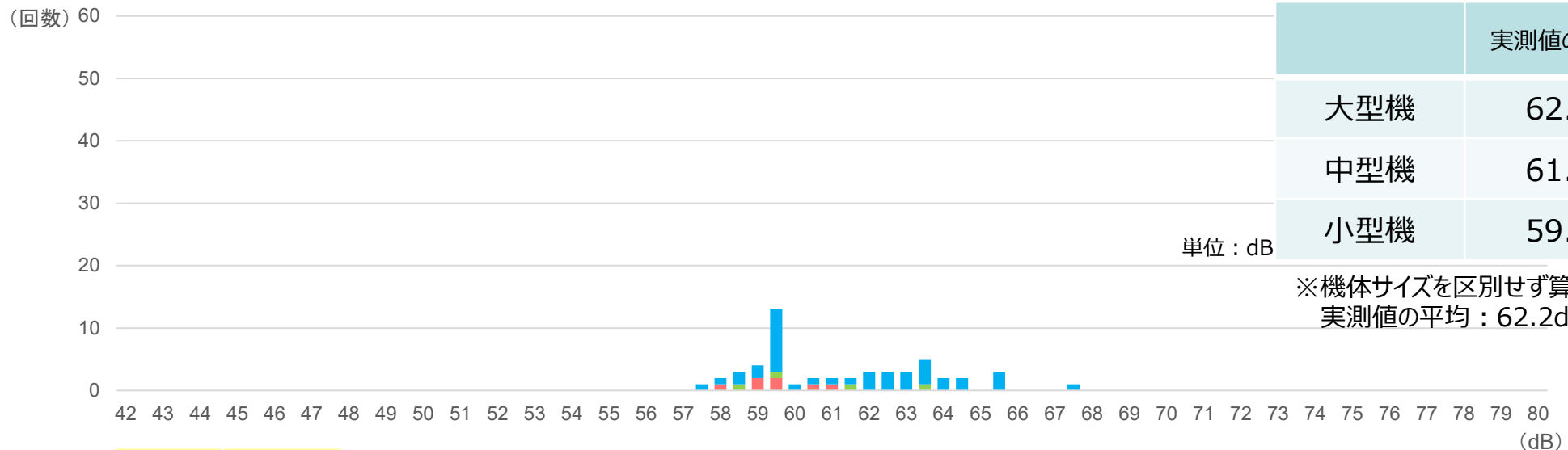


※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。上図は、騒音レベル（L A [dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。

※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1000ft（約305m）、離陸時で2000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音

（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音発生回数：52



単位：dB

	実測値の平均
大型機	62.5
中型機	61.5
小型機	59.8

※機体サイズを区別せず算出した
実測値の平均：62.2dB

Lden	8月
	34.5

■ 小型機 ■ 中型機 ■ 大型機 ■ ヘリコプター

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標